

しみず新産業開発振興機構
09 - 4月次報告書

作成 事務局

第78回しみず新事業創出研究会(13日)
駿河湾地域新事業推進研究会役員会・総会 (17日)
第51回「産学官交流」講演会・交流会 (21日)

1、第78回創出研究会 (13日、出席43人)

1) 中西会長の情報提供他

- (1) 静岡発「天然植物抽出緑色素材」(株ゼロワン: 島田市中河996-1)の紹介。
摘果果実や茶がらから特定の温度、圧力、時間等により、退色が少なく安定した緑色抽出物の製造条件を確立した。
- (2) 今年度の「地域結集型研究開発プログラム」に採択された5年間の事業(10億円)「静岡発世界を結ぶ新世代茶飲料と素材の開発・・・研究機関: 県立大、静大、県工業技術研究所、県農林技術研究所」で新しい茶飲料の研究がスタートした。
- (3) 「讃岐うどんの排水処理装置」の紹介。零細うどん店が購入可能価格200万円以内に対し、東西化学産業株が180万で完成し発表した。(大手企業は800~1000万円)もみ殻炭化物に、香川県のお麦畑の土壌菌を培養固定させた、微生物処理。

2) 情報提供

『学術文献情報データベースの紹介』(独) 科学技術振興機構名古屋デスク 北川 芳ちよ氏
JSTの情報提供サービスの「J Dream」について紹介: 外国語文献も日本語で検索でき、内容を日本語で知ることができる情報システムである。

3) 成果発表

- (1) 「ペルチエ素子とスパイラルヒートシンクによる新しい冷暖房システムの開発研究」
デモ機展示運転 大日工業株 川瀬 社長
沼津高専との共同研究で静岡市の助成金(100万円)を得て、3月に結果を発表した。
長距離大型トラックの停車時のアイドリングが禁止され、エアコン冷暖房に代わる、バッテリー電源でのペルチエ素子応用のシステムの開発研究。試作機持参。クリアすべき課題多し。時間が必要。
- (2) 「果物(梅)の果肉付き種の分離装置」 (株望月鉄工所 望月 社長
梅漬けの梅果肉を取る際に発生する、果肉付き梅種の果肉と種を分離する試験機を紹介。他の用途を考えてほしい

4) メンバーによる問題提起・意見交換

- (1) 富士見工業株 金田 専務執行役員
肥料をスティック状にし、畝に打ち込む簡単な機器があればいいという話がある。また野菜栽培において、種と肥料を一緒に畝に敷いたマルチの上から穴を掘って植え込む方式の機械(耕運機などに簡単なアタッチメントを取り付ける)が開発できないか。
- (2) カネ二倉庫株 大澤社長
清水区江尻台町のエスジーボート内に県内初「3面バーチャルゴルフ」の店「GOLBA」を開店し

た。料金：昼間1時間当たり4000円（2人でやれば1人2000円）夜・・・6000円。
来場期待。（会議所より4月号に紹介された）

2、駿河湾地域新事業推進研究会役員会・総会（17日）

場所：商工会議所 懇親会：ホテルサンルート
総会：出席 20社 来賓、大学を含め 53人
議案：20年度事業報告、決算報告 承認された
21年度事業計画、予算計画 承認された
役員改選 承認された
特別講演 「期待が高まる植物工場」 東京農業大学客員教授 高辻 正基 氏
*アスタキサンチンの炭酸飲料試作品（JAフーズ）出席者に試飲。

3、第51回「産学官交流」後援会・交流会（21日） 静岡大学工学部 参加 30人

- 1) 「塑性加工工具の損傷・破壊の予知技術の開発」機械工学科 早川 邦夫 准教授
冷間鍛造やプレス成型等の機械加工の分野における工具破損予知技術について解説した。
- 2) 「光電極プロセスによる水の浄化と水溶液中の化学物質の検出」物質工学科 前田 康久 准教授
二酸化チタン光電極プロセスによる水の浄化を中心に、溶液中の色素の光酸化退色、有機物の分解によるCODの減少、無機イオンの光酸化処理等について解説した。

4、その他 事務局

- 1) 駿河湾P・大学・企業打合せ 随時 事務局
- 2) 静岡県産業集積クラスターコンソーシアム事業化推進助成事業に応募（5月にプレゼン予定）
テーマ：単色光による機能性成分増強スプラウトの商品化
参画機関：田島農園（管理法人）、県立大学（小林教授）、清水地域経済研究センター
協力機関：ケーイーコーポレーション、ライフビーグル静岡
事業費：約2800万円（内 自己資金1/3）
- 3) 新会員 樹テクノスルカラゴ 食品・農薬・微生物の分析同定。 清水区長崎330

5、二遊コーディネーター

新年度を迎えた、いよいよ事業化が具体的に実現するテーマがいくつもあり楽しみになってきた。全力投球でものにしたい。関係企業の力と熱意が試される段階になって来た。一方、事業創出研究会も格段の活性化を呈し、会員企業からの開発状況の報告と開発テーマの提案が具体的になされるようになってきた。中西会長のリーダーシップが実を結ぶ時が近いと実感する。事務局の努力にも敬意を表する次第である。

6、今後の予定

	5月	6月	7月
新事業創出研究会		9日	16日
産学官講演会	52回理工科大	19日	（東京アース研と合同研究会）
しみず新産業開発振興機構理事会・総会	29日		

以上